

旧真田山陸軍墓地担当課御中

2018年9月4日台風21号による墓地被害への対応について、下記の通り申し入れます。

- 1、9月5日午後2時から4時まで、本会会員2名が墓地の被害について概略調査を実施しました（別紙2枚参照）。相当ひどい状況であることが判明しました。おそらく、墓地開設以来の被害ではないかと思えます。

この状況の回復には、費用はもちろんです。復旧工事においては、これ以上の墓碑の破壊を避け、かつ元通りの状態に戻すことを基本目標として、そのためのいろんな配慮が兼ね備わる必要があります。

- 2、まず、倒木や倒れた電柱の撤去を実施すべきですが、倒れている、いないに関わらず、墓碑を傷つけないよう慎重な注意が必要です。

- 3、続いて、破壊状況を記録し、だれの墓碑がどんな被害を受けたのかきちんとリストアップすることが大事です。このときには、国立歴史民俗博物館の作成した「墓碑銘文一覧」と本会会員の堀田暁生氏作成「埋葬人名簿」（デジタルデータ）が利用できます。

4、墓碑が倒れたとき、本体からはがれて落ちた破片等も多いかと推測します。それについての配慮も必要です。

5、以上の諸点について、復旧に従事する業者さんとの連携が強く求められます。本NPO 法人はこの間の復旧作業に関し協力を惜しまないことも申し上げておきます。

2018年9月6日

NPO 法人 旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会

理事長 小田 康德